

今年は選挙の年です

農業委員会選挙人名簿登載申請を忘れずに
締切は1月10日(金)です

農業委員会委員の選挙人名簿は、毎年1月1日現在で調製されます。この選挙人名簿に登載されていないと農業委員選挙の権利がありません。忘れずに申請しましょう。

◇資格要件

平成26年1月1日現在、鶴岡市に住所を有し、平成6年4月1日以前に生まれた方で、次のいずれかに該当する方

- ①10アール以上の農地につき耕作の業務を営む者
- ②上記の同居の世帯員(親族及び配偶者)で年間おおむね60日以上耕作に従事している者
- ③10アール以上の農地を耕作する農業生産法人の組合員又は社員で年間おおむね60日以上耕作に従事している者



大沼みずほ参議院議員を 招いて研修会が開催されました

去る11月15日に鶴岡市認定農業者会議(佐藤公由 会長)主催の研修会が開催されました。今回は、参議院議員の大沼みずほ氏を招いての研修会で、「今後の日本農業の展望と山形の農業に期待すること」をテーマに、会員と関係者併せて100人ほどが参加しました。講演では、TPPや米政策の転換について政府内で現在どのような議論がなされているかなど、普段なかなか聞くことのできない大変有意義な研修会となりました。研修会終了後、情報交換会があり会員同士が交流を深めました。



加入しています 農業者年金



羽黒 向山 智さん(27歳)
成澤

◆地域の後継者として活躍

羽黒地域の向山集落で就農2年目の成澤智さんは、母、祖母と3人で水稲6ha、そば、庄内柿を手がけています。

地元の高校を卒業後、新庄市の農業高等学校で農業を学び、地元のガソリンスタンドへ勤務しながら、家の農業の手伝いをしていました。2年前に農業を営んでいた父が急逝し、急遽農業経営を継ぐことになりました。「いつかは継ぐつもりだった。作業をしていると、父に聞いておけばよかったと思うことばかりです。」と話す智さん。まだまだ、農業を始めて日が浅く不安がいっぱいの様子でした。しかし、周りに同年代の就農者はいないものの、父

◆農業者年金の魅力

「早いうちから掛ければ後から有利になる。教えてもらわなければ、加入してなかったと思う。」と話す智さん。また、説明を聞いて加入を決めたポイントを見ると、「確定申告の際に保険料が全額控除されることが大きかったですね。そして、認定農業者で青色申告していれば政策支援(保険料の助成)を受けられる。これは他の年金にはない有利な制度。」と教えてくれました。「将来はハウスで花卉栽培をしてみたい。気候の違うヨーロッパにも研修に行つてみたい。」と現在の夢を語る智さん。

これから、地域の担い手として、地域の方々に支えられながら成長していったらいいと感じました。

つるおか 大産業まつり

10月19日～20日

農業委員会では、
「手づくり寄せ豆腐のふるまい」
「農産物の販売」
「耕作放棄地解消事例の紹介」
を行いました。



「野菜いっぱい食べれるレシピ」にたくさんのご応募ありがとうございました。どれも本当に考えられたレシピで選考も大変でしたが、見事受賞された方のレシピをご紹介します。
※農業委員会ホームページでもご覧いただけます。

最優秀賞

野菜たっぷり豚キムチ

廣嶋 英子様(城北町)



◎ 材料

それぞれの材料は適量となります。
・豚バラ肉・もやし・たまねぎ・ニラ
・キャベツ・にんじん・ぶなしめじ
・市販のキムチの素・砂糖、醤油を少々

◎ つくり方

- ①豚肉は酒をふっしておく。
- ②フライパンに油をひいて豚肉を炒める。
- ③野菜を入れて炒める。
- ④キムチの素を入れさらに炒めて砂糖を少々、醤油を少々入れる。

◎ この料理の紹介

豚キムチ野菜炒めは、もやし、ニラ、たまねぎでつくっていましたが、もっと野菜をいろいろ入れたらさらにおいしくなりました。

あどがき

正月には欠かせないのがおもち。元旦にお雑煮を食べないと一年が始まりません。古来、日本は稲作信仰が深く、いろんな面で生活に密着しており瑞穂の国といわれるゆえんです。そんな日本人に深くかわつてきたお米の環境が今大きく変わろうとしています。長い歴史の中でもその時々苦難を乗り越えてきました。ここが頑張りどころです。

まもなく育苗施設も稼働し、新たなコメ作りのスタートとなります。今年も昨年以上のおいしい米づくりに取り組みましょう。

農業委員 菅原 一幸

◇ 鶴岡市議会推薦

平成25年12月3日付けで、鶴岡市議会からの推薦委員が交代しましたのでお知らせいたします。



齋藤 久委員

農業委員が
変わりました



前任委員

五十嵐 庄二 委員

新任委員

齋藤 久委員